

(声明)

IMAGINE

—2021年1月22日、核兵器が国際法違反となる日に—

核戦争に反対する医師の会

2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効します。

私たちは核兵器禁止条約の発効を心から歓迎し、核兵器国も含めてすべての国連加盟国がこの条約に批准することを願います。

私たちは平和のことを考える時、ビートルズのメンバーだったジョン・レノンの「IMAGINE」という歌を思い浮かべます。彼は、IMAGINE（想像）しようと訴えます。国も戦争もない世界を、みんなが平和に生きていることをイマジンしようと。

多くの人びとはいつからイマジンしなくなったのでしょうか。新型コロナウイルスに対して、以前から新興感染症のリスクが言われていたのにイマジンしませんでした。地球の温暖化によって、将来人類の生存の危機が直面しているのに、イマジンしないので今なお化石燃料に依存しています。日本の安全保障のためには、核兵器による抑止力が必要であり、アメリカの核の傘の下に入る必要があると主張します。イマジンしないのでしょうか。再び核戦争が起こったら人類が生存できないということ。

2017年7月、ヒバクシャの訴えと核のない世界を求める市民社会の力が多くの非核兵器国を動かし、国連で核兵器禁止条約が122か国という多数の国の賛成で採択され、昨年締約国が50か国を超えて、今年の1月22日核兵器禁止条約が発効します。核兵器が初めて国際法違反となり、核兵器に「悪の烙印」が押される日となります。ヒバクシャがいのちをかけて、核兵器がいかに非人道的なものであるかを訴え、人々が核戦争の結末についてイマジンした結果です。

しかし、唯一の戦争による被爆国である日本政府は、この核兵器禁止条約に反対し、署名・批准を拒否しています。イマジンしない国は亡びるだけです。イマジンしよう。そして持続可能な社会を実現するために行動が必要です。

想像してごらん/核兵器によってすべてが破壊された世界を/人間が人間として死ぬことも生きることも許されない世界を/さあ、想像してごらん/核のない世界の実現には何が必要かって

最後に「IMAGINE」はこう呼びかけています。

僕のことを夢想家だと言うかもしれないね/でも僕一人じゃないはず/いつかあなたもみんな仲間になって/そして世界はきっとひとつになるんだ